

大輔阿闍梨○日 御房

〔武州文書八〕海上中務入道理一女子尼蓮一言上

欲早任蓮一相傳證文并安堵下知狀蒙御成敗金澤稱名寺代官光信非分知行下總國東○莊○上代郷

内田八段半在家一字事○中

建武二年四月日

〔鎌倉大草紙〕此千葉介は平將軍村岡五郎重門末葉にて右大將頼朝の御時當家の元祖常胤は鎌

倉へ無二の忠節ありて將軍より御崇敬あり官加階はあらざれども諸家の上座に列一男千葉

新介○中 六男東六郎大夫胤頼として東庄三十三郷を知行し代々歌人にて禁中の御會にも參け

れば子孫代々在洛す

〔古文帖〕青山牛太夫藏

大神君

下總國東庄三千石宛行訖永可令知行者也仍如件

天正廿年二月朔日 御朱印

青山圖書助どのへ

〔烟田文書天〕讓與所々所領等事

下總國印東○莊○貝塚郷自大道北并加親常跡○中略

建武三年大才丙子六月廿日

信崇判

〔下總國舊事考十一〕龍腹寺村龍腹寺鐘識

南關浮提大日本國關東下總印西○莊○龍腹寺玄林山大鐘寄附之作者谷田部三郎兵衛千葉子行人

筆者當寺普門坊賢勝